

シルバー くまどり

第56号 令和6年5月(2024年)



【写 真】

(左) 青空とこいのぼり
(右) 和田山パークまつり

【標 語】

気を抜くな 慣れと過信は事故のもと
～広報委員会～

<撮影>カワセミ写真クラブ 中磯和義氏

【目 次】

健 康 2

時 事 6

委員会 3

私の履歴

働 く 4.5

事務局だより 7.8

会員にインタビュー ←読みどころ

就任のご挨拶

定時総会開催のお知らせ

編集後記

<発 行>

公益社団法人 熊取町シルバー人材センター
広報委員会

住 所 泉南郡熊取町山手の台 1-8-4

電 話 072-452-8753

FAX 072-452-8759

H P <https://webc.sjc.ne.jp/kumatorisc/>

メール kumatorisc@key.ocn.ne.jp



<事業実績>

令和5年4月～令和6年3月 83,771千円
前年同期比 88.6%

<会員数>

181名 男128名 女53名
令和6年3月31日現在

団塊世代、人生これから

日本生活習慣病予防協会の標語に「二無、二少、三多」というのがあります。

〈無縁〉たばこは万病のもと。

〈少食〉暴飲暴食せずによく噛んで、三食規則正しく。

〈少酒〉お酒は節度を保って、ほどほどに。

〈多動〉座りっぱなしをさげ、身体を動かそう。

〈多休〉睡眠、休憩をしっかりとって、リフレッシュ。

〈多接〉沢山の人と交流し、物事に接しましょう。

受け取り方はそれぞれですが、病氣や動けなくなつてから、健康を意識するのはなく、健康を守り、自分でやりたいことができる人生を送るため、日々の積み重ねが大切と改めて感じませんか？

体操では、しっかりと身体を動かせば、食事もしゃめ、快眠にもつながります。

まさに生活習慣病の予防ですね。予防には、老いも若きも、遅すぎることはありません。今からでも体操を習慣にして、やりたいことを自分でできる人生を目指しましょう。

余談ですが、団塊の世代に生まれた人気漫画「サザエさん」は、1946年に新聞連載がスタートしました。波平さん54歳、フネさん50歳前後の設定です。この夫婦の姿がまるで老人のように映りませんか、それくらい日本人は、年を重ねても元気になったことを示しているとも言えます。長寿化の背景には様々な要因があり、医学の進歩もありますが、もつとも大きな要素はやはり栄養状態の改善があり、肉を積極的に食べるようになりタンパク質の摂取が増えたこと。その結果、免疫力が飛躍的に向上し結核の死亡者数が激減し、さらに脳卒中の患者数も減少していきました。(和田秀樹氏コラム参照)

健康状態の改善で長らく元気でいられることは素晴らしいことですが、近年、今度は生活習慣病ならびに認知症患者数の増大が大変な社会問題となつていきます。

「笑う門にはボケはなし」とも言われます。私たちはシルバー(主に団塊世代)ならではの日々のルーティンを順守し健康寿命を伸ばしましょう。

そこで締めめに、シルバーあるある川柳、5句を選んでみました。

- ◎おばあさん
マスク取つたら おじいさん
- ◎「お母さん！」で
バレたオレオレ うちは「ママ」
- ◎試供品
そない食べんと わからんか
- ◎お若いと
言われて背筋 ピンと張り
- ◎大丈夫
あなたが言えば なお心配
あるある！

女性部会

絵手紙講習会に参加 「レモンとかぶ」を描きました

煉瓦館

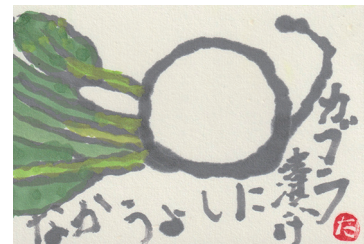
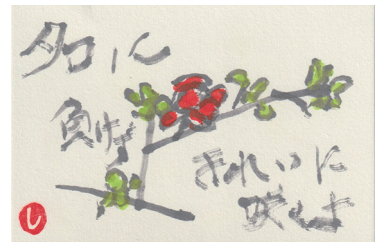
令和6年3月2日(土)



シルバー人材センター会員の皆様、こんにちは！
女性部会では、会員間の交流する機会をつくることで親睦を図ると同時に、少しでもストレス解消ができればと、手芸の会や食事会など行っています。
今回、絵手紙講習会に参加しましたので、その様子など紹介したいと思います。



以前から興味があった初めての絵手紙。「ヘタでいい、ヘタがいい」との教えを頂き安心しました。



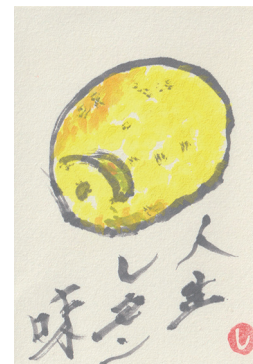
それぞれの感性で楽しい初体験でした。

初めての絵手紙、上手く書けませんが良い体験になりました。

おしゃれで穏やかな先生の指導のもと、「ヘタでいい、ヘタがいい」という絵手紙。我が作品は「ヘタ」そのもの。ひとりで笑ってしまいましたが、孫にポストイン。



自分の想いを短い言葉と絵で伝えるということは、なかなか奥深いものがあると感じました。また機会があれば、もう一度絵手紙にふれてみたいと思ったひとときでした。



【バザー出品物ご協力へのお願い】今秋に予定されている町民文化祭にバザー出店を計画しています。つきましては、皆様からの出品物のご協力をお願いいたします。ご家庭での不用品（新品のものに限る、電化製品不可）があれば、随時事務局までご連絡ください。10月末まで受け付けています。

『技術』を伝えていく

泉大津市SCと実施

シルバー人材センター(S
C)が受注する作業の中で、
襖や障子、網戸の張り替え
があります。

この度、泉大津市シルバー
人材センターからの依頼を
受け、3月11日(月)と12
日(火)の2日間、当センター
会員による障子等張替え講
習を実施しました。

泉大津市から3名の受講
者が参加し、当センター会
員の説明に熱心に耳を傾け、
技術習得に取り組んでいま
した。

受講された方からは、「そ
れぞれ個人にに応じてわかり
やすく丁寧に教えていただ
き、とても楽しかった」と
好評で、網戸や障子も立派
に張替えが行えるように

なっていました。

当センターでも障子の張
替え作業を行なっていただ
ける会員は現在お一人しか
いない状況で、昨年7月、
襖張替え講習を実施し、2
名の方が受講されています。
今後も引き続き、多くの方
の就業機会の確保のため、
随時、障子等張替えの講習
を実施しますので、興味が
ある会員の方は、是非事務
局にご連絡ください。



いんたびゅー

ここ数年にシルバー人材
センターへ会員登録し、現
在就業されている会員のお
声を聞かせていただきまし
た。(お声を聞かせていただ
いた会員)嶋田晴美さん(令
和4年9月入会)

シルバー人材センターに
登録されたきっかけを教え
てください。

子育てに専念して30数年
専業主婦でしたが、落ち着
いた頃に何かしようとして10年
程前からスポーツジムに通
いはじめました。でも何か
物足りないなあと感じ、昔、
仕事をしていた頃は楽し
かったことを思い出して、
シルバー人材センターに会

員登録してみようと思いま
した。

—どのような業務に就業さ
れていますか。

いろいろ紹介していただ
きましたが、初めは、なか
なか自分にできそうな業務
がありませんでした。紹介
いただいた中で1,000
枚のチラシ投函のお仕事を
させていただいたのが初め
てのお仕事です。その後、
昨年9月から週1回、1時
間のアパートの屋外清掃業
務に就業し、そして今年1
月下旬から現在のサービ
ス付き高齢者向け住宅で入居
者の衣服の洗濯、仕分け、
そしてお届けする業務を行
なっています。

—就業して感じたこと、自

分自身の変化について教えてください。

もともと自分でいろいろ考えて行動することが好きでしたが、屋外清掃業務ではより綺麗に片付けるために、また、高齢者向け住宅の業務では個々入居者のご要望に応じた対応を心がけ、喜んでいただけるために、業務を通していろいろな人のためになれることを考えています。

ともお互いの信頼関係を築くことができ、人との繋がりによって、ひとりじゃないんだと実感しています。

就業していない頃は、することもなく、考えるというものがあまりありませんでしたが、就業して、自分で考えて行動するということがいかに大切かを改めて気付かされました。

「今、そして今後の想いをお聞かせください。

私は、自分からハローワークに行つて仕事を探すという勇氣はありませんでしたが、今こうして就業し、毎日を楽しく過ごしていることは、シルバー人材センターの存在が大きかったと思います。

通っているスポーツジムの仲間にもシルバー人材センターを通して就業し、充実した楽しい生活を送っていることをよく話しますが、その話を聞いた町内の方が「私もシルバー人材センターに登録しよう!」と言つてくれています。

働くということは、身体を動かす、頭をつかう、そして人と関わりを持つことから、心身ともに健康になれるとしみじみ感じます。また収入も得られることから生きがいのひとつにもなり、毎日が自然と楽しく生活できています。

これから年を重ね、いつまで車の運転ができるだろうか、いつまで健康でいら

れるだろうかなど、いろいろ考えますが、「病院か、働くか」と自分に問いかけ、未来の不安は考えず、今はいけるところまでいこう!とこれからも自分自身を鼓舞し、頑張つていきたいと思ひます。

「インタビューを終えて:」

いろいろお聞かせいただき、ありがとうございます。

シルバー人材センターの存在意義を実感させていただいたお話を聞かせていただきました。

お話を終えて、終始明るい笑顔で輝いておられたのがとても印象的でした。今後ともよろしくお願ひします。

【訃報】

当法人副理事長藤原秀興氏が令和 6 年 2 月 10 日、ご逝去されました。

ここにあらためて生前のご厚誼に深く感謝いたしますとともに、謹んでお知らせ申し上げます。

藤原氏は、会員の同好会である「遊歩会」に積極的に参加し、会員との交流を深められるとともに、広報委員のメンバーとして会報制作にもご尽力くださいました。

53 号 (令和 5 年 5 月号) では、WBC (ワールドベースボールクラシック) の日本代表が見事な優勝を勝ち取るまでのファン心理を、「コロナ禍に乗せた希望」として書かれた記事は強く印象に残っています。

故人を偲び、生前お書きいただいた「私の履歴」をここに紹介いたします。

私の履歴

好きな事、数えてみればいくつもある。その中でもお芝居をすることが好きです。二十代の頃、役者を目指して頑張る時もあったが、舞台公演で大怪我をして断念した事もありました。

その後、サラリーマン時代を過ごし、定年後、好きな事をやりたくなり、アマチュア演劇サークルでお芝居、紙芝居等を通してボランティア活動を続けています。

何故、お芝居をする事が好きになったのでしょうか！ 思い出してみてください。

小学 6 年生の学芸会で劇の内容は、小さな島に初めて電灯が灯り、村人一同で喜び楽しく踊り続ける

場面だったと思う。私は村長さん、ランプを振りかざし率先して「電灯がついた、電灯がついた…」と乱舞した。

学芸会が終わった後も私をみつけてはまわりの皆が「電灯がついた、電灯がついた…」と囃し立てた。注目される喜び、楽しさが忘れられなくなったようです。幼少期は恥ずかしがり屋だった私の性格をも変えてしまったようでした。

《私の履歴》について

日暮れの畦道、裏山の雑木林、稲刈りあとの田んぼ、懐かしく何とも切なく思い出されます。あの頃聴いた音楽、熱中したこと、誰にでもひとつはあるのでは…大切な思い出が。同じ時代を歩んだ足跡(履歴)を、懐かしく偲んでみたいと思います。

就任のご挨拶

事務局長 原田哲哉

この度、令和

6 年 4 月 1 日付

けで熊取町シル

バー人材セン

ターの事務局長

として就任いた

しました。どうぞよろしくお願い

いたします。



さて、シルバー人材センターについては、高齢者が長年の経験の中で培った知識や技能を活かして自らの健康づくりと生きがいを見つけ、そしてその取組みが地域社会への貢献につながる重要な役割を担っています。

当センターは、平成 3 年に社会福祉協議会においてシルバー人材センター事業としてスタートし、平成 17 年 1 月 1 日に法人認可を受けてから今年で 19 年目を迎えます。

現在、こうして地域に定着し、安定した事業運営が行えていることは、これまで役員の方々をはじめ、会員の皆様自らが積極的に関わりを持って取り組んでこられた賜物と感謝申し上げます。

近年、人口減少、少子高齢化が進展し、シルバー人材センターについてはより一層の活躍が期待される中で、人生 100 年時代を見据え、地域の特徴や実情を踏まえた積極的な取組みを進めていくことが大切であると考えています。

しかしながら、令和 2 年度以降、新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済活動の停滞が続き、シルバー人材センターも厳しい環境に置かれ、契約件数の減少など様々な課題に直面しています。

こうした状況の中でも前向きに、微力ではございますが、シル

バー人材センターの発展と地域のために事務局職員一丸となって会員の皆様と共に一歩一歩着実に歩んでまいりたいと考えておりますので、これまで同様、皆様のご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

《職員の変動》

▽阪上清隆常務理事兼事務局長

退任退職

阪上清隆常務理事兼事務局長が令和 6 年 2 月 29 日付けで退任退職されました。在任中は、当センターの事業運営全体を主導され、多大な貢献をいただきました。

▽岸和田谷拓也係員 退職

岸和田谷拓也係員が令和 6 年 2 月 21 日付けで退職されました。在任中は、受注者と会員との作業調整など幅広く業務に従事され、当センターの事業運営に貢献いただきました。

●定時総会開催日のお知らせ

令和 6 年 5 月 31 日 (金) 午後 2 時から、すまいるズ煉瓦館コットンホールにおいて、第 23 回定時総会を開催します。

当日は、総会に先立ち、午後 1 時から、研修会 (講習会「就業会員に求められるもの」) を開催いたしますので、是非ともご参加くださいますようお願いいたします。

◆会報に掲載する標語、川柳、表紙の写真 (町内で撮影) をはじめ「会員のちょっとひと言 (趣味、働く喜び、生きがい等、日頃の生活の出来事など)」など募集しています。採用された作品は、会報に掲載させていただくとともに、粗品を進呈いたします。積極的に投稿してください。

FAX: 072-452-8759

E-mail: kumatorisc@key.ocn.ne.jp

<編集後記>

3 月には、熊取町文化ホール (キテーネホール)、熊取町公民館 (かむかむプラザ) が開館し、新しい熊取町がスタートしました。文化都市へと発展する姿を見守っていきたいですね。

さて、広報委員も 2 名欠員になった状況のなか、新たに坂本委員が加わりました。どうぞよろしくお祈りいたします。

シリーズ<私の履歴>コーナーいかがでしたか? 好評につき毎号シリーズ掲載していきませんが、会員皆様の原稿、大大募集しています。ふるってご応募の程よろしくお祈りいたします。

たった一度、一瞬の出会いが人生を左右することがあります。人も物も出来事も、一期一会を大切にすれば、新しい発見にも恵まれます。

会員皆様の心を左右する記事が書けたらなあ〜、と委員一同知恵をしぼり取り組んでいます。乞うご期待くださいませ。

広報委員長 宮崎

●会員を募集しています

今年度も入会者が少なく、業務内容によっては支障がみられる場合もあります。会員の皆様のご友人やお知り合いの方々に、入会をお勧めいただければ幸いです。(会員による 1 人 1 会員入会活動をお願いします)

入会説明会 (毎月第 4 水曜日) は、5 月 22 日 (水)、6 月 26 日 (水)、7 月 24 日 (水)、8 月 28 日 (水)、午後 2 時からシルバー人材センター会議室で行っています。

●バザー用品提供にご協力ください

令和 6 年 11 月に予定されている町民文化祭にバザー出店を計画しています。

つきましては、皆様からの出品物のご協力をお願いいたします。ご家庭での不用品 (新品のものに限る、電化製品不可) があれば、随時事務局までご連絡ください。

10 月末まで受け付けています。

●アドプト・ロード・シルバーにご協力ください

当センターでは、地域貢献活動の一環として、町と協定し年間 6 回「くまとりアドプト・ロード・シルバー」(ボランティア活動) に取り組んでいます。会員の皆様の参加をお待ちしております。

- ・取組日 偶数月の第 3 水曜日
- ・時 間 午前 10 時 (8 月は午前 9 時)
センター会議室に集合
雨天の場合は翌週水曜日

場所は、センター正門前道路 (町道山の手台 1 号線) の清掃。